

営農ウィークリーNEWS

梅雨時に発生する病害に注意！！

灰色かび病



湿度 90%以上で発生多い。ナスでは開花後の花卉に菌が着生しその後果実を侵し、乾燥してかさぶた状になっていることが多い。風通しをよくし予防的薬散を行う。

疫病



20～25℃前後の気温で降雨の多い時に発生多い。栽培面では、密植を避け風通し、排水を良くし、窒素を多用しない。（写真は農文協電子図書館より）

細菌病



キュウリ斑点細菌病は、降雨が多い時に発生する細菌病。追肥過多で助長される。効果のある農薬は抗生物質、銅剤など。（写真は農文協電子図書館より）

主な農薬（登録内容を確認して使用する）

灰色かび病	ダコニール1000フロアブル、ダイアメリッドライフフロアブル、ファンタジスタ顆粒水和剤、カンタスドライフロアブル、アフェットフロアブル、スミブレンド水和剤、ポリオキシシAL水溶剤、トップジンM水和剤、ベンレート水和剤など
疫病	リドミルゴールドMZ顆粒水和剤、アミスターオプティフロアブル、ベジセイバーフロアブル、銅シン水和剤、ランマンフロアブル、ライメイフロアブル、レーバスフロアブル、フォリオゴールドフロアブル、ダコニール1000フロアブル、ペンコゼブフロアブルなど
細菌病	銅シン水和剤、Zボルドー水和剤、キノンドー水和剤、スターナ水和剤、ジーファイン水和剤など

—TAC information—

アリによる被害！！！！



写真は、「アリ」による被害を受けたナスです。株元は穴だらけ、実も食害を受け、商品価値がなくなっています。

幸い、大事には至りませんでした。皆さんも気を付けて下さい。

